

くるくる回せ フェナキスティスコープ

制作時間：150 分

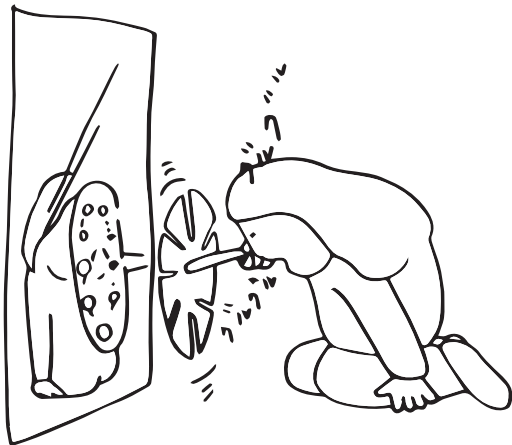
1832 年にベルギーの物理学者で数学者のプラトーによって考案されました。Phenakistiscope はフェナキストスコープとも呼ばれ、ギリシア語の phenakistikos(人をあざむく者)+scopein(注視する) からの造語です。この発明は回転している車輪を一連の細いすき間 (スリット) ごしにのぞくと、車輪のスポークが静止しているように見える実験結果とゾーマトロープを組み合わせで生み出されました。

円板とボルトとナットを心棒にとりつけ、鏡の前で早く回転させると、切り込み (スリット) から鏡に映った像が動き出します。連続写真を生み出したエドワード・マイブリッジもこのフェナキスティスコープを試みていました。

切り込みによって作られた (スリット) の数は 16 枚のものもあれば、20 枚のものもありますが、今回の型紙では 12 コマで動くものを紹介しています。

用意するもの

- ・割り箸 1つ
- ・押しピン 1つ
- ・型紙
- ・黒画用紙または黒厚紙 (型紙用)
- ・絵描き用紙
- ・のり
- ・カッター
- ・カッターマット
- ・手鏡 (顔ぐらい大きいものであれば、なお良いでしょう)



©Yamamura Animation



アニメーション作家 山村浩二によるフェナキスティスコープ
©Yamamura Animation

年 組 番 名前